



研究技術内容

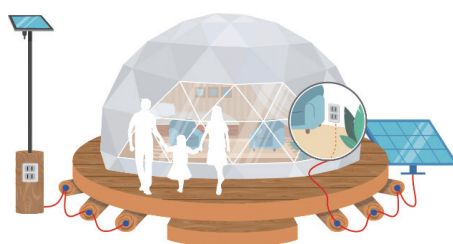
【主なテーマ】

- ・丸太を電池筐体として用いた際の蓄電池の劣化解析
- ・丸太電池を用いた山岳DX向け小型オフグリッド電源の開発
- ・丸太電池を用いた建造物（ウッドデッキ）のエネルギーマネジメントシステムの開発

技術要点説明



山岳地域の防災・減災対策には、様々なセンサーを自然環境の中に設置し、情報を共有する必要があります。その際送電線のない場所にセンサーを設置したいケースが多くオフグリッド電源が必要になります。この研究では、自然景観に馴染む木材を筐体とした蓄電池を提案し、山岳地域の防災・減災に役立てる試みを行っています。



産業への活用方向

住宅建材に組み込んだ蓄電池システムの提案
据え置き型の電源として送電網の届かない山岳地域や非電化地域への展開

関係する大学・企業等

諏訪近郊の協力企業及び市場調和等を担って頂ける協力企業あり

研究室概要

研究分野	電気化学、二次電池（蓄電池）
主研究テーマ	新規水系蓄電池の開発
主要キーワード	水系電池、アルカリ電池、二次電池、環境調和型蓄電池
研究室 HP	https://www.sus.ac.jp/professor/kd_13ogawa/

特記事項

- 特許取得・各種認証等取得状況（予定含む）
協力企業等にて出願特許あり
- シーズの熟度
試作した電池での基礎実験が進んでいる段階で、信頼性を含めた実証研究が今後の課題